

# 鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2013.6

vol.86

## 第11回 脳卒中市民講座

去る6月2日（日）に、脳卒中市民講座をかごしま県民交流センターで開催いたしました。平成15年から一般市民の方を対象として行っておりますこの会も第11回を迎えることが出来ました。脳卒中の基本的な知識を一般市民の方々に広めることにより、脳卒中の発症予防や後遺症の軽減に繋げることを目的としており、日本脳卒中協会、鹿児島市医師会、鹿児島県、鹿児島県医師会、田辺三菱製薬、三井住友あいおい生命にも共催をいただき開催しました。

今回は「知っておきたい脳卒中の予防と治療」と題して予防と治療の基礎知識についての講演会といたしました。本年は雨の予報にもかかわらず何とか天候にも恵まれ、市内全域から幅広い年齢層の600名近くの方においで頂きました。

まず、花田修一院長の開会挨拶に続いて、第一部は脇田正之（脳血管内科医長）から「危険因子と脳卒中の予防」について、また中島隆宏（脳血管内科医師）から「脳卒中の最新治療」について、さらに牟田大助（脳神経外科医師）から「クモ膜下出血の検査と治療」についての講演をしました。第二部では脳卒中経験者である川勝弘之さんを横浜からお招きし、「脳卒中経験者に聞く発症から社会復帰までの道のり」と題したパネルディスカッションを行いました。パネラーとして鶴川俊洋（リハビリテーション科医長）、淵脇美保子（栄養管理室長）、井手智子（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）ならびに吉留由希乃（ソーシャルワーカー）も参加しました。脳卒中発症前の生活から発症時の様子、入院後の治療やその後の生活における苦労話などを交えた経験談を司会との対話形式でお話し頂き、ポイントについてパネラーから解説するとともにディスカッションを行う形式で進行了ました。川勝さんは全国で数多くこのような講演をされており、患者の立場から脳卒中の怖さ、予防の大切さなどについて熱く語って頂きました。事後のアンケートでも、多くの方から「分かりやすくとても勉強になった」「脳卒中経験者のお話は心に響いた」とのお言葉を頂きました。最後は会場から頂いた質問の一部にお答えした後、上別府昌子看護部長が閉会の挨拶をして無事終了いたしました。

なお事後のアンケートでは、「特に今回のプログラムは興味深く勉強になった」「来年も参加する」とお答え頂いた方も多く、市民の皆様のお役に立てるよう来年以降のプログラムを検討していこうと思います。来年も同時期に開催予定ですので、今後とも何卒よろしく願います。また、今後の市民講座の内容や開催方法等に関しましてご意見などございましたらご指導頂けますと幸いです。

最後に、今回も無事に開催することが出来たのは、演者や裏方も含め、院内全ての部署および共催、後援各所のご協力のたまものと思っております。末筆ながらこの場をお借りしてご協力、ご共催ならびにご後援頂きました方々、各施設、団体に厚く御礼申し上げます。

（文責：脳血管内科医長 松岡 秀樹）



## 鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校に入学して

桜の花びらが舞う4月、私たち1年生93名は鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校に入学しました。私は、環境も周りの友達も、何もかもが0からのスタートである学校生活に、期待と不安で胸をいっぱいにしてながら入学式に臨みました。入学式にご出席くださった来賓の方々や、学校関係者、そして両親からの温かい激励の言葉に励まされ、自分が1人ではないことを実感し、とても励みになりました。また、入学式で来賓の方々から患者さんの立場に立つことの大切さや看護師に期待される専門性の高さについてお言葉をいただき、看護師への道のりの厳しさに身が引き締まる思いがしました。それと同時に、看護師になるという幼いころからの夢に一步近づけたことをうれしく思いました。

私たちは本校の基本理念でもある、「人間愛と探求心を育み、ヒューマンケアの実践者を育成します」という考えに基づき、看護に必要な知識・技術を修得していくにあたって、1年生は「吸収」という目標を立てました。そして、その目標を達成するために、毎日看護の勉強に励んでいます。新しい学校生活は、慣れないことが多いですが、先生方や先輩方に教わりながら一生懸命行動し、ひとつひとつの出来事に真摯に向き合っていきたいと思います。

先日、基礎看護学実習I（早期体験）があり、本校の母体病院である鹿児島医療センターで初めて看護を体験しました。1日の実習の中で、患者さんとコミュニケーションをはかり患者さんの入院生活の思いに触れることが出来ました。また、現場で働く看護師の姿を見て、看護師になりたいという思いがさらに強くなりました。そして、実際に医療者の立場から看護を体験したことによって、普段受けている授業が、看護師として働くための基盤になるとても重要な知識を学ぶ場であることを改めて理解することができました。これからはひとつひとつの授業を大切に、学校生活を送っていこうと思います。知識も技術も未熟である私たちを、快く受け入れてくださる患者さんに感謝し、これから1年生93名で切磋琢磨しながら自分の思い描く理想の看護師に一步一步近づいていけるように、勉学に励んでいきたいと思っています。

（文責：鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校1年 新名 千夏）



# 新任紹介

## 泌尿器科



伏谷 俊作

4月から泌尿器科で勤務させて頂いております。  
今まで肝属串間出水大島都城と鹿児島  
の地域を反時計回りに回ってきましたが、  
今回振り出しに戻ったような気持ちです。  
主に透析を含めた血液浄化を担当させて  
いただきますので、何かありましたらい  
つでもご連絡ください。久しぶりの鹿児  
島市内での勤務で情報の多さや医療の進  
歩に戸惑う場面もありご迷惑をおかけす  
るかとおもいますが、どうぞよろしくお  
願ひいたします。

## 消化器内科



藤田 俊浩

4月から、消化器内科勤務となりました  
藤田俊浩です。H19年度にも、当院の  
消化器内科でレジデントとして勤務させ  
て頂いておりました。その後、霧島市立  
医師会医療センター、済生会川内病院、  
国立病院機構指宿病院と、各地を転々と  
渡り歩き、6年振りに当院へ戻って参り  
ました。当院では、上部、下部消化管内  
視鏡や腹部エコーを始め、内視鏡的止血  
術等の治療内視鏡、消化器癌に対する化  
学療法等、消化器疾患全般に渡って担当  
させて頂きます。まだまだシステムに不  
慣れな点もあり、ご迷惑をおかけするこ  
ともあるかと思いますが、皆様のお役に  
たてるよう精一杯努力する所存ですので、  
どうか宜しくお願ひ致します。

## 泌尿器科



江浦 瑠美子

平成25年4月から、泌尿器科で勤務  
させて頂いております。1日でも早く、  
病院の環境やシステムに慣れ、患者様や  
先生方のお役に立てるようにと考えてい  
ます。また泌尿器科の中で女性であるこ  
とを生かし、女性の方々も相談しやすい  
外来を目標に取り組んでいきたいと思ひ  
ます。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 消化器内科



坪内 直子

平成25年4月より1年ぶりに鹿児島  
医療センターに戻って参りました。  
当院はカプセル内視鏡、ダブルバル  
ーン内視鏡検査ともに行うことができ、小  
腸出血などの緊急性の高い疾患にも対応  
可能です。今後も引き続き、小腸疾患の  
検査及び治療を積極的に行っていきたい  
と思ひます。よろしくお願ひいたします。

## 第二循環器科



下川原 裕人

平成25年4月から第二循環器科で勤  
務させて頂いております。  
2年間、国立病院機構の岡山医療セン  
ターで、慢性血栓性肺高血圧症に対  
する経皮的肺動脈形成術を中心とした肺  
高血圧診療に従事して参りました。本院  
は2年ぶりの勤務となります。まだ病院  
のシステムや環境に慣れず、周りの先生  
方やスタッフの方々に御迷惑をお掛けし  
てばかりですが、鹿児島に住んでらっし  
ゃる肺高血圧疾患、循環器疾患の患者様  
のお役に立てるよう頑張りたいと思ひ  
ます。よろしくお願ひします。

## 第二循環器科



蔡 榮鴻

H25年4月1日より第二循環器科で  
勤務させて頂いております。H22年4月  
に当院で循環器内科レジデントとしてス  
タートしましたので、2年間の県立大島  
病院での勤務を経てHomeに戻って来  
たという感じです。まだまだ経験も浅い  
のですが、今後は不整脈治療を専門とし  
て頑張っていきたいと思ひます。どうぞ  
よろしくお願ひいたします。

## 第二循環器科



レジデント  
伊集院 駿

こんにちは!!今年の4月からお世話  
になっている第2循環器科の伊集院です。  
出身は鹿児島市吉野町ですが、大学時  
代は佐賀、その後、沖縄の病院で3年間  
研修し、一身上の都合でまた鹿児島に戻  
って参りました。こちらの病院の先生方、  
スタッフの方々は皆様とても親しみやす  
くて、働きやすいので、この病院にして  
本当によかったと思ひている今日このご  
ろです。まだまだ循環器1年目で修行中  
の身ですが、気軽に声をかけて頂けたら  
有難いです。あと、趣味で手相をやっ  
ているので、道に迷ったかたは、PHS74  
60にお電話ください。的確なアドバイ  
スを致します。それでは、よろしくお願  
ひします。

## 糖尿病・内分泌内科



レジデント  
竹下 綾子

4月1日より糖尿病・内分泌内科で勤  
務させて頂いております。市立病院、  
大学病院での勤務を経て、この度赴任し  
て参りました。スタッフの皆さまが温か  
く、熱意に満ちたこの環境で診療がで  
きることを大変嬉しく思ひています。糖尿  
病・内分泌疾患を中心に、少しでも患者  
さまの笑顔、安心を増やせれば、と考  
えております。不慣れな分、ご迷惑をお  
掛けすることもあるかと存じますが、皆  
様のお力になれるよう努めて参ります。  
どうぞよろしくお願ひ致します。

# 研修医挨拶



**井上 博貴**

4月から研修医2年目となり、鹿児島大学の桜島プログラムで鹿児島医療センターに4ヶ月間研修させていただくことになりました。1年目は鹿児島大学病院と市立病院を6カ月ずつ回っていました。鹿児島医療センターでは急性期疾患やcommon diseaseを中心に学んでいけたらと思います。まだまだ未熟ですが、スタッフの皆さんご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



**永田 祐貴**

4月よりお世話になっております。研修医の永田祐貴と申します。長崎大学を卒業し、6年ぶりに地元に帰ってきました。慣れないことばかりで迷惑ばかりかけておりますが、鹿児島医療センターの一員として一日でも早く貢献できるように元氣よく頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



**久留 敏晴**

4月より鹿児島医療センターでお世話になっております。研修医の久留敏晴と申します。仕事が始まって間もなく、覚えることも多く、忙しい日々を過ごしておりますが、少しでも早く病院や患者さんの役に立てよう頑張りたいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。



**児玉 朋子**

4月から研修医1年目としてお世話になっております。山口から出身の鹿児島に戻ってきました。この一か月、沢山のことを教えて頂きながら充実した研修で、ここで研修できてよかったです。患者さんにとって少しでも多くプラスになる医療者になれるよう頑張ります。これらもご指導のほどどうぞよろしくお願いいたします。



**菊野 聡美**

4月から初期研修医としてお世話になっております菊野聡美です。至らない点が多く反省する毎日ですが、日々自分が成長していることを実感しています。周りの方々に支えられ充実した日々を送っております。一生懸命頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



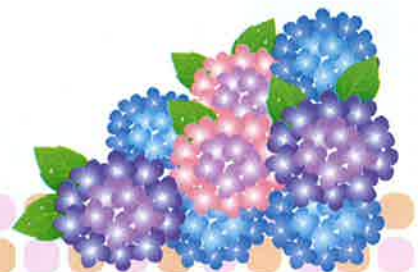
**川出 茂**

4月からお世話になっております、研修1年目の川出茂と申します。大学病院の桜島プログラムから、1年間鹿児島医療センターで研修させていただく予定です。まだ研修が始まって1か月も経っておらず、仕事を覚えることで精一杯ですが、日々多くのことを勉強させて頂いており、とても充実した毎日を送ることができています。また、右も左も分からずご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、1日でも早くお役にたてるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。



**松崎 かおり**

4月よりお世話になっております。研修が始まってまだ間もなく、仕事を覚えることで精一杯の日々が続いておりますが、将来少しでも鹿児島の医療に貢献できるよう、一日一日を大切に研修していきたいと思っております。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。



## 放射線治療装置（リニアック）更新工事のお知らせ

当院では放射線治療装置（リニアック）の機器を更新することとなりました。工事期間である平成25年9月20日（金）～平成26年2月28日（金）に照射期間がかかってしまう症例は放射線治療依頼をお受けできません。大変ご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

院長：花田 修一

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター**（循環器・脳卒中・がん専門施設）

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域医療連携室】 蘭田・四丸・永重・重吉・森・吉留・山口・酒井・櫻木・竹田津

直通電話▶099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

